

## 名古屋と奈良で大阪の仲間づくり報告

大阪平和委員会は、5月14日大阪市天王寺区内で第67回定期総会を37人の出席で開きました。

翌日が沖繩が日本に返還されてちょうど51年目に当たると言うこともあり、沖繩連帯の熱を帯びた総会となりました。

近藤理事長の司会のもと、最初に西晃会長(左下写真)が恒例の憲法講演を行いました。

以下にその感想文を紹介します。

「地震、殺人など心を暗くする社会の中、現状をふまえて講演をしていただきありがとうございます。ございました。憲法第7章の財政民主主義、第83条、91条の話がよかったです。建設国債を軍艦建造に使うとはおかしい。軍事費増額に反対しましょう。累積長期債務が非常に気にかかります」

「沖繩で地につけて運動している人が多くなっているという話に励まされました。阿波根しようこうさんの『耳より上に手をあげない』『沖繩人同士はケンカをしない』『相手の立場を尊重しながら自分たちの主張を通す』など沖繩のたたかいを教えてくださいました」

「西南諸島のミサイル配備について危機感を持っていましたが、『攻撃目標になってしまう』ということが現実味を帯びてきたと思いました。一般マスコミ

がほとんど報道しない中、私たちの運動を広げることが大事だと決意しました」

次に25名の物故者に黙祷を捧げました。

次に片方副会長、岩本副理事長が議長に選出され、議事に移りました。

まず上羽事務局長が、パワーポイントを使って、ロシアによるウクライナ侵攻やアベ「国葬」

に対する抗議行動など1年間の活動を振り返ったあと、方針提案を行いました。

続いて吉田事務局次長が2022年度の収支報告と新年度予算の提案、加藤秀雄さんが会計監査報告を行いました。休憩後討論に移り、地域から

されました。都島、東住吉、高槻・島本、西淀川、堺、東大阪、ミナミ、八尾、天王寺、青年学生部などが発言しました。

この討論のあと、2022年度活動総括・収支、2023年度活動方針・予算案および役員案が全員の拍手で承認されました。

仲間づくり顕彰では14名に図書カードが贈られました。選出された役員は以下の通りです。\*敬称略

- ◇会長―西 晃 ◇副会長―岩田幸雄、片方真佐子、山本陽子
  - ◇理事長―近藤正 ◇副理事長―亀井明子、岩本悟、中村玉枝
- \*総会では26名の物故者に黙祷をささげました。



なお、総会には次の団体より心温まるメッセージが寄せられました。ここに記して改めてお礼申し上げます。

1. 全大阪労働組合総連合
2. 大阪府立高等学校教職員組合
3. 日本コリア協会・大阪大阪府保険医協会
4. 大阪府歯科保険医協会
5. 大阪府医療労働組合連合会
6. 大阪府警察組合連合会
7. 大阪府医師会
8. 原水爆禁止大阪府協議会
9. 全大阪生活と健康を守る連合会
10. 全大阪労働組合総連合
11. 進歩と革新をめざす大阪の会
12. 平和を願い戦争に反対する大阪戦没者遺族の会
13. 非核の政府を求める大阪の会

14. 日本共産党大阪国政事務所
15. 大阪A.L.A.連帯委員会

総会に寄せられた感想文

◎久しぶりに参加し、各地域の様子が聞けてよかったです。西淀川や八尾の組織に近づけたと思います。どの組織も若い人が不可欠です。何とかしたいです。

【堺からの参加者より】

### 【6月の行事案内】

- 7日(水) 東住吉平和委員会総会 13:30  
今川地域振興センター  
常任理事会 18:00~
- 9日(金) 9の日宣伝 17:00 淀屋橋
- 15日(木) 沖繩連帯行動 12:00 近鉄上本町駅前
- 17日(土) 大阪母親大会 13:00 クレオ大阪中央  
井上麻矢氏講演
- 24日(土) 日本平和委員会定期全国大会オンライン(~25日)
- 30日(金) 平和行進出発式 11:45 柏原市役所前





# 憲法アンケート「9条変えるべきでない」との回答が上回る

5月3日は憲法記念日。改憲が議論されるなか、道行く若者たちは憲法についてどう考えているのか。

大阪平和委員会青年学生部と青年協議会は、この日8回目の

「若者100人に聞く憲法アンケート」を阿部野橋歩道橋周辺で午前9時30分から11時30分まで計21人で実施しました。

アンケートに答えてくれた若者は104人（内訳は12歳〜36歳で平均年齢は16・58歳）でした。

憲法アンケートに対する青年学生部の見解―本日施行76年目を迎え、日本国憲法について改憲が議論される中、道行く若者たちにはどのような映っているのか。憲法についてどう考えているのか、私たち大阪平和委員会青年学生部は、2014年から8回目の「若者100人に聞く憲法アンケート」を実施し、大阪の若者の意識調査を行った。

昨年12月の「安保3文書」の閣議決定を受けて、防衛費の増額についての設問を加えた。全国での集計については後日、日本平和委員会機関紙「平和新聞」紙面にて発表する。

以下が主な設問とその回答結果。

**設問1 「5月3日は何の日？」**  
の問いで「憲法記念日」と正解した若者は25人（24・0%）となった。誤回答・無回答は79

人（76・0%）だった。誤回答として、「建国記念日」「憲法記念日」が合わせて6人、「ごみの日」（4人）や「こどもの日」（6人）「みどりの日」（4人）が目立った。

**設問2 「憲法は変えるべきか？」**  
という問いに対して、改憲賛成（変えるべき、どちらかといえば変えるべき）の回答数が16人（15・4%）に対して、改憲反対（変えるべきでない、どちらかといえば変えるべきでない）の回答数が22人（21・2%）と上回った。ただし、「わからない」と回答した若者が66人（63・5%）と相変わらず多数を占めた。



変えるべき派の意見としては、「（どこを変えたいか）9条」という回答のほか、「現代社会向きではない」「新しい時代にあっていないところ、男女差別など」といった日本国憲法が時代に合わなくなっているという認識の回答が2件。最も多かったのが、「同性婚ありにしたい」「LGBTの人たちの対応」というような性別マイノリティの権利に関する回答で、4件にのぼった。昨年は、ロシアによるウクライナ侵略の影響もあり、憲法9条・安全保障に関する自由記述が圧倒的だったが、今年ほとんど見受けられなかった。一方で、個人の尊厳や人権の尊重について若者の関心が高いことがうかがえた。

ほかに「タトゥーが入っていたら温泉に入れないということ」という意見もあった。

**設問3 「憲法9条については変えるべきか」という問いに対しては、9条を変えたいと回答した若者は10人（9・9%）にとどまり、変えるべきでないと回答した若者は59人（56・7%）だった。「わからない」と回答した若者も35人（33・7%）いた。**

9条を変えたいと回答した若者からは「攻撃された時国を守る」「治安維持のため」という意見があった。反対の意見としては「戦争は武器を使うことによっては始まると思うから」「過去の悲劇を二度と引き起こさないため」「戦争は嫌！」などといった回答があり、明確に「戦争という言葉を使って戦争に対する拒否感を示す自由記

述が26件と多数を占めた。憲法9条が変えられることが戦争につながるのではないかと不安と、9条によって平和が守られてきたという認識が強かった

大阪平和委員会は、沖縄「返還」からちょうど51年目の5月15日正午から1時前まで近鉄上本町駅前前で沖縄連帯行動を15人の参加で実施しました。

この行動を通して「辺野古新基地建設の断念を求める署名」を25集めることができました。上羽事務局長とうたごえ協議会の立川孝信さんと平和遺族会の大島守さんの3人が、マイクを通して「今日沖縄は本土に復帰して51年目を迎えました。しかし、沖縄には今なお巨大な米軍基地が居座り、経済発展が妨げられているだけでなく、昨

年末に閣議決定された「安保3文書」で、本格的な軍事要塞にされようとしています」と訴えました。

日本平和委員会第73回定期全国大会オンラインの開催要項

**沖縄連帯行動**

日本平和委員会第73回定期全国大会オンラインの開催要項

●日 時 6月24日(土) 13時半～25日(日) 15時

●日 程 24日 13:00 受付 (Zoom入室)

13:30 開会・全体会―議長選出、開会あいさつ、報告と提案、全体討論など

17:30 休憩

25日 10:00 分科会 (Zoom入室9:40)

12:00 休憩

13:00 全体会―分科会報告、討論のまとめ、議案採決、閉会あいさつなど

15:00 閉会

15:00 閉会

